

# アフターケア・インケアに関するアンケート調査

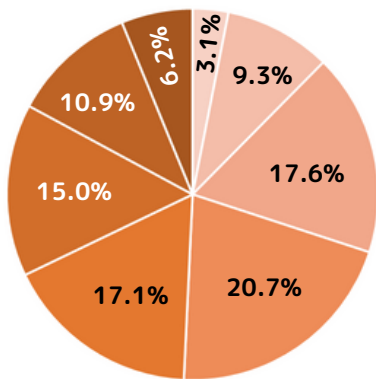
## 2023年度 熊本県社会的養護自立支援実態把握事業 報告書概要版

児童養護施設や里親家庭等で過去生活をしてきた方・現在生活している方に、自立支援のニーズを調査しました。この概要版では、社会的養護経験をもつ若者や子どもたちが、いまどのような生活をおくり、どのような気持ちでいるのかを紹介します。

### Aftercare 退所者調査

回答者  
193名

児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設、里親、ファミリーホーム、自立援助ホームを過去5年（2018年度～2022年度）に退所した、15歳以上の義務教育を終了した者



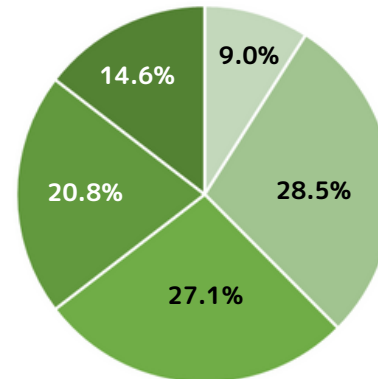
- 17歳以下
- 18歳
- 19歳
- 20歳
- 21歳
- 22歳
- 23歳
- 24歳以上



### Incare 入所者調査

回答者  
144名

児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設、里親、ファミリーホーム、自立援助ホームに入所中の15歳以上の義務教育を終了した者



- 15歳
- 16歳
- 17歳
- 18歳
- 19歳以上



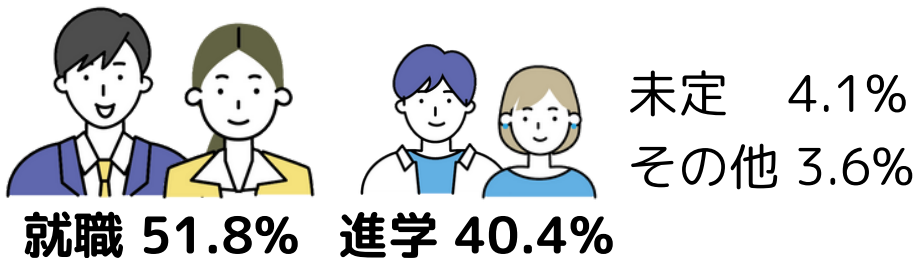
次頁から「2020年全国調査」との比較があります。「2020年全国調査」とは、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が行った、『令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業費補助金』の採択案件の成果報告書内「施設や里親家庭等で生活していた人の生活やサポートに関するアンケート調査」のことを指しています。

[https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai\\_210528.pdf](https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai_210528.pdf)



# 進路

## ■ 退所直後の進路

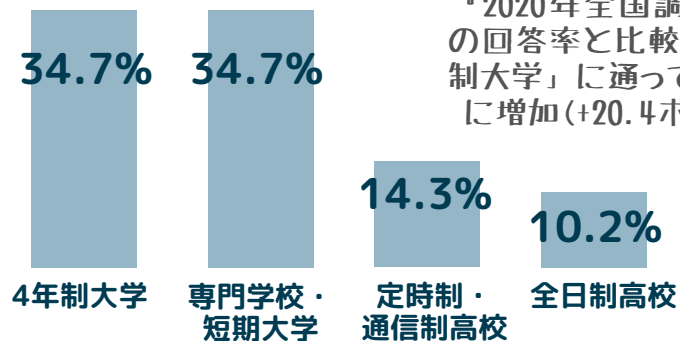


『2020年全国調査』では、全国に比べ熊本県は就職が多く、進学が少なかった。今回の調査では進学が増加(+15.1ポイント)。

# 学校

## ■ 現在学校に通っている 25.4%

## ■ 通っている学校

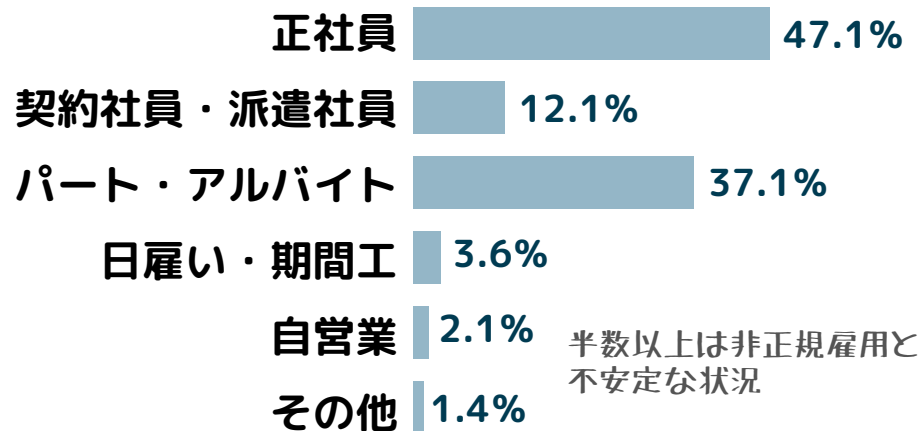


『2020年全国調査』の熊本県の回答率と比較すると、「4年制大学」に通っている人が大幅に増加(+20.4ポイント)。

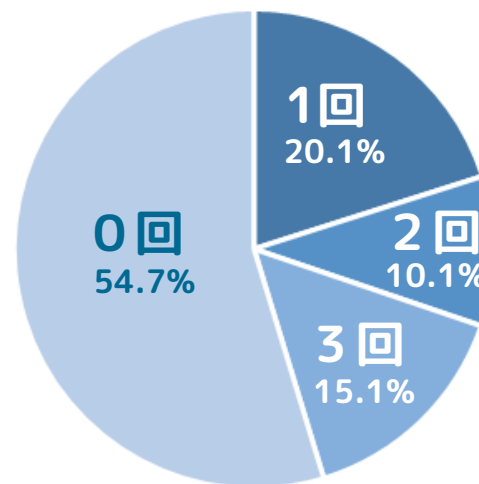
# 仕事

## ■ 現在働いている 72.5%

## ■ 働き方



## ■ 転職の経験



## 転職理由 TOP3

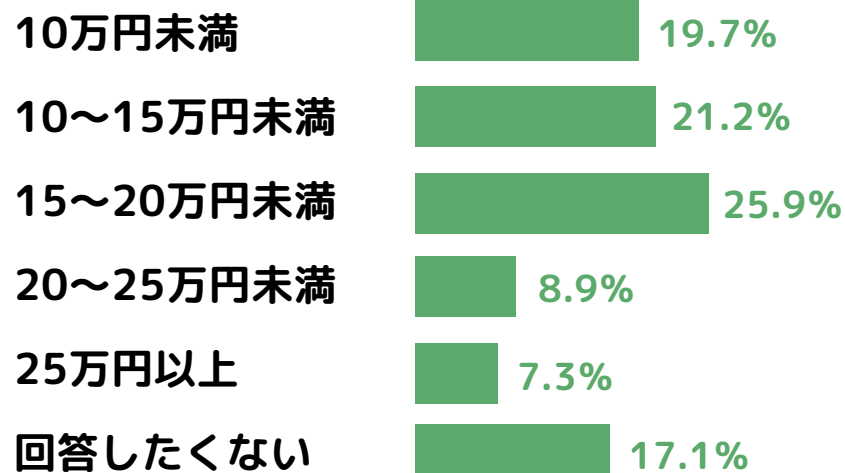
- 1位 業務が合わない
- 2位 人間関係
- 3位 給料が安かった

4割以上が転職を経験。過去5年以内に3回以上転職した人も1割以上いる。

## ■ 収入と支出のバランス



## ■ 毎月の収入



収支バランスと月収の関係は、月収が10万円未満では「支出の方が多い」（赤字）と回答した人が多い。月収が15万円以上20万円未満になると、「収入と支出はほとんど同じくらい」との回答が多くなる。

## ■ 貯金がある 39.4%

『2020年全国調査』の熊本県の回答率と比較すると、貯金があるという回答がやや少ない(△6.8ポイント)。



## ■ ローンや借金がある 8.8%

『2020年全国調査』の熊本県の回答率と比較すると、「ローン・借金がある」という回答が大幅に減少(△26.4ポイント)。




### ローンや借金の理由

- 一時的な出費があって借金をした 64.7%
- 日常的な生活費が足りずに借金をした 41.2%
- 金銭管理が苦手な借金をした 17.6%






# 健康

## からだの健康状態

-  健康 81.3%
-  通院している 13.0%
-  通院していないが体調が悪い 5.7%


## こころの健康状態

-  健康 77.7%
-  通院している 9.8%
-  通院していないが体調が悪い 8.8%

からだやこころの健康状態については、女性の方が不調と回答する人が多い。

## 通院できなかった 19.7%

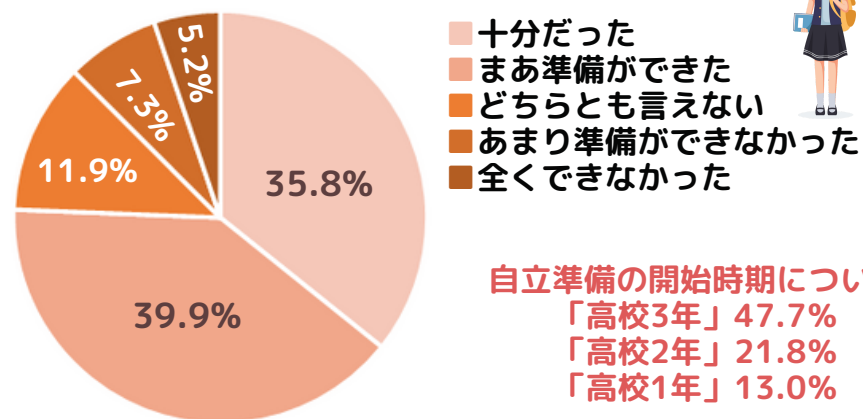
### 理由TOP3

-  お金がかかる 71.1%
-  時間がない 44.7%
-  適切な病院がわからない 15.8%

過去1年間で、病院や歯医者に行きたいのに行けなかった人が2割程度いた。家計の収支バランスで赤字（支出が多い）と回答した人は、病院へ行けなかったと回答した人が多い。

# 自立準備

## 自立準備の満足度



自立準備の開始時期について  
 「高校3年」47.7%  
 「高校2年」21.8%  
 「高校1年」13.0%

自立の準備を開始した時期については「ちょうどよかった」が半数以上。

## 自立支援の内容

- 困りごとの相談先や相談方法 49.7%
- 退所後の住まい探し・同行 36.8%
- 家事の練習 36.3%
- 生活費のシミュレーション 34.2%
- 就職活動のサポート 25.9%
- 退所後の生活に関する冊子配布 25.9%
- 奨学金制度の案内 24.9%



『2020年全国調査』の熊本県の回答率と比較すると、「奨学金制度の案内」(+15ポイント)や「困りごとの相談先や相談方法」(+13.4ポイント)が増加。

## 施設等とのつながり

### ■ 入所中の意思表示



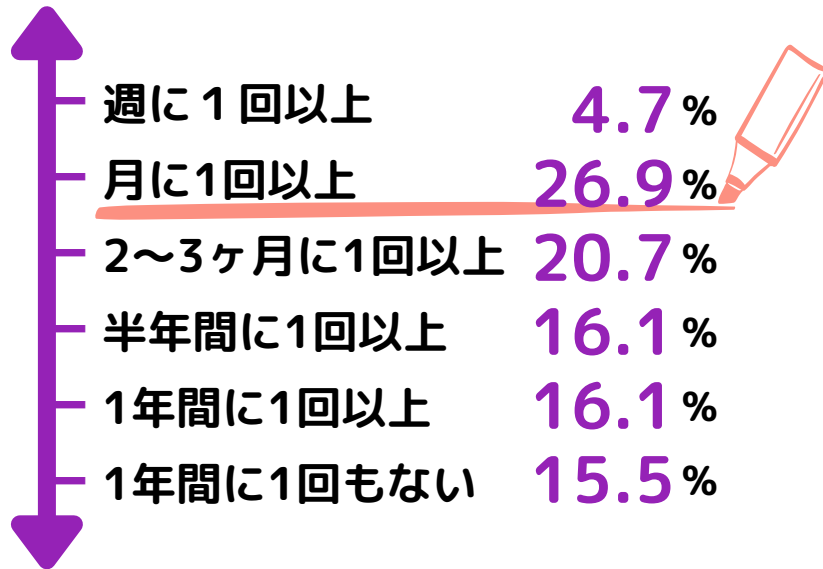
よく伝えられた  
+まあ伝えられた **71.0%**



あまり伝えられなかった  
+全く伝えられなかった **10.9%**

施設等で生活している時、自分の将来について気持ちや希望は十分に伝えられたかとたずねたところ、7割の人が伝えられたと回答。

### ■ 退所後、施設等からの連絡頻度



施設等からの連絡頻度については、8割以上が「ちょうどいい」と回答。

## 不安と支援

### ■ 不安なこと

学  
生  
費  
生  
活  
費

29.5%

仕  
事

24.9%

将  
来

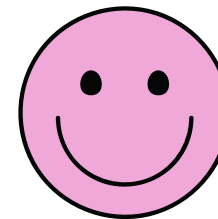
23.8%

家族や親戚 16.6%  
心の健康 16.6%  
借金 4.7%

不安なことはない  
26.4%

『2020年全国調査』の熊本県の回答では「生活費や学費のこと」と「借金のこと」が全国よりも多かったが、今回の調査では、それぞれ△13.4ポイント、△14ポイント減った。

### ■ 退所後の支援



よかった  
+まあよかった  
**61.1%**

利用したことがない  
13.5%

あまりよくなかった  
+よくなかった  
**2.1%**

『2020年全国調査』の熊本県の回答率と比較すると、「とてもよかった」と「まあよかった」が大幅に増加。（+56.7ポイント）  
「利用したことがない」も大幅に減少（△16.2ポイント）し、施設等をはじめとするアフターケアが充実しつつある。



# 進路

## ■ 今後の進路予定



就職 42.4% 進学 37.5%

未定 16.7%  
その他 3.5%

# 健康

## ■ からだの健康状態

- 健康 82.6%
- 通院している 13.9%
- 通院していないが体調が悪い 4.2%

## ■ こころの健康状態

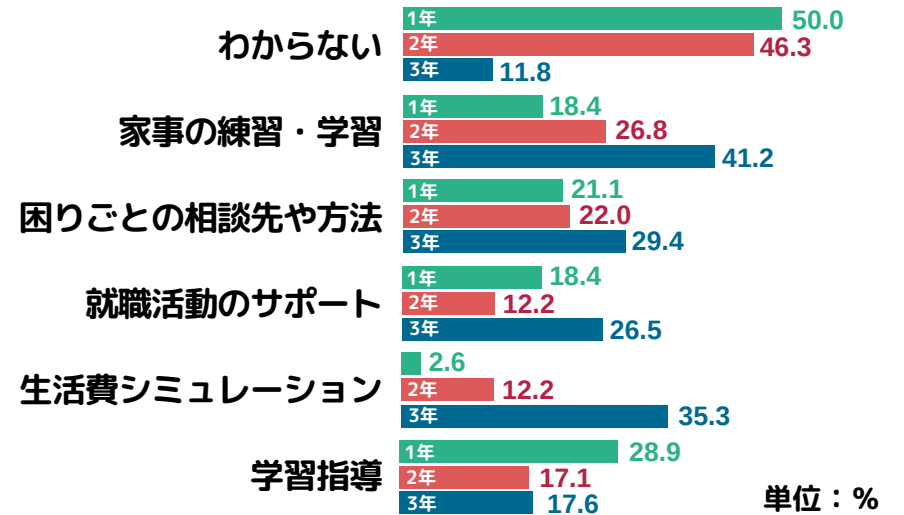
- 健康 73.6%
- 通院している 17.4%
- 通院していないが体調が悪い 6.9%

退所者調査と同じように、健康状態については、男性よりも、女性の方が不調と回答する人が多い。

# 自立準備

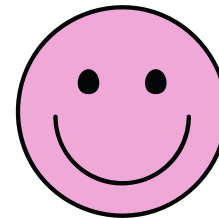
## ■ 自立支援の内容

高校1年 高校2年 高校3年



施設等で受けている自立支援の内容について高1・高2ではわからないという回答が多いが、学年が進むにつれて自立支援の内容は具体的になる。

## ■ 自立支援の評価



よかった  
+まあよかった  
**68.7%**

あまりよくなかった  
+よくなかった  
**5.6%**

約7割の人が、施設等で受けている自立支援は有効だと思うと回答。

# 施設等とのかかわり

## 意思表示



よく伝えている  
+まあ伝えている **68.7%**



あまり伝えられない  
+全く伝えられない **12.5%**

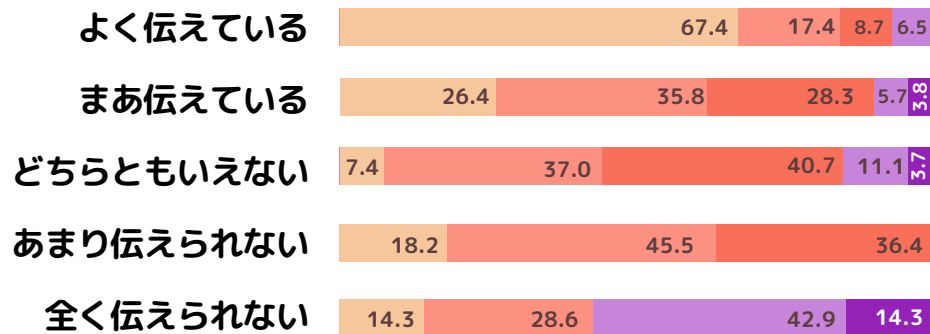
自分の将来、自分の気持ちや希望は十分に伝えられていますかという質問には、7割弱が意思表示はできていると回答。

## 職員との信頼関係

- 十分に信頼できる
- まあ信頼できる
- どちらとも言えない
- あまり信頼できない
- 全く信頼できない

### 意思表示

単位：%



自分の意思を「よく伝えている」と回答した人は、施設職員や里親を「十分に信頼できる」との回答が多い。意思をよく伝えている人は、施設職員や里親を信頼していると考えられる。

# 不安と相談

## 不安なこと

学  
生  
費  
生  
活  
費

52.1%

仕  
事

37.5%

住  
ま  
い

34.7%

将来 29.9%  
人間関係 27.8%  
家族や親族 25.0%

## 相談相手

施設等以外の友人 45.8%  
施設等で生活したことのある友人 34.0%  
きょうだい 30.6%  
親 29.9%  
施設の職員 28.5%



## 心理的障壁

結婚・恋愛・友人・職場について



非常にある  
+まあある

**41.7%**



どちらとも  
言えない

**30.6%**



あまりない  
+全くない

**27.7%**

「自分の生き立ちを考えて、結婚、恋愛、友人、職場において後ろ向きな気持ちになることがありますか」という質問には、4割以上が心理的障壁を感じていると回答。

## 提言・今後の展望

本調査では、学識経験者、障害者支援、就労支援、心理、社会的養護経験者で構成される連絡協議会を立ち上げ、6名の委員で議論を重ねました。本調査の結果を受けて、連絡協議会より大きく3点の提言をいただきました。

- ①本調査で得られた結果をもとに、具体的な自立支援の手法等を行政や施設等で議論するなどして、県内共通の自立支援の仕組みづくりを行うこと
- ②定期的に自立支援の現状把握を行い、検証機能を継続していくこと
- ③調査に回答しなかった（できなかった）者に焦点を当てて求められる支援像を検討すること

施設や里親家庭等を巣立つ時の不安、これまでに受けたサポートの感想など、ここで紹介した以外にもたくさんの質問に回答いただきました。また、施設や里親家庭等を退所した後のライフストーリーをたずねたヒアリング調査、施設等の自立支援調査も行いました。ご興味・ご関心がある方は、以下のホームページに掲載している報告書をご覧ください。

熊本県 <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/36/198578.html>

熊本市 [https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/Detail.aspx?c\\_id=5&id=53740](https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/Detail.aspx?c_id=5&id=53740)

ブリッジフォースマイル <https://www.b4s.jp/post-8105/>

熊本県HP



熊本市HP



ブリッジフォースマイル



## 2023年度熊本県社会的養護自立支援実態把握事業の概要

### 【事業主体】

熊本県、熊本市

### 【事業目的】

社会的養護経験者等の支援ニーズ等を把握するための実態調査やヒアリングを実施し、熊本県内の社会的養護経験者等の実情を把握し、今後の自立支援の推進に向けた取り組みを検討する。

### 【調査対象の施設等】

児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設、里親、ファミリーホーム、自立援助ホーム

### 【実施した調査】

- ① 退所者調査：調査対象施設を措置解除された本人記入調査
- ② 入所者調査：調査対象施設に措置入所中の本人記入調査
- ③ ヒアリング調査：調査対象施設を措置解除された本人面接聴取調査
- ④ 施設等調査：調査対象施設の自立支援担当者記入調査

2023  
KUMAMOTO